



LG Pocket Photo ポケットフォトプリンター

取扱説明書

本機をご利用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

モデル名:PD233/PD233P



実際の機器はイラストと異なる場合があります。

<http://www.lg.com/jp>



NFC-enabled



Fun Application



Inkless Paper



Android™



Bluetooth®



MFL67884739



Pocket Photo アプリの QR コード
Android スマートフォン用



Pocket Photo アプリの QR コード
iPhone 用

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味



禁止

禁止内容（してはいけないこと）を表しています。



プラグを抜く



ぬれ手禁止

注意内容（気をつけること）を表しています。



指示

指示内容（しなければならぬこと）を表しています。



警告 異常や故障のときは

- 本機を倒したり、キャビネットを破損したりしたときはすぐに電源プラグを抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。



プラグを抜く

- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
 - 煙やにおい、異臭がする。
 - 内部に水やものが入った。
 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに当社カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。



プラグを抜く

警告 電源について

- ACアダプターの指定以外の電圧で使用しない。
火災や感電の原因になります。
- 電源コードに重いものを載せない。
火災や感電の原因になります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、すぐに当社カスタマーサポートセンターにコードの交換をご依頼ください。



禁止

- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
電源プラグが外れかけたまま使用すると、火災や感電の原因になります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。



指示

注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となる場合があります。
- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止



ぬれ手禁止



禁止

- タコ足配線をしない。
火災や感電の原因となります。



禁止

- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンを切っても、電源は接続状態になっています。

警告 設置について

- 屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。
火災や感電の原因になります。



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。

本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になったり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 振動のある場所に置かない。

振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になったり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 本機の近くに花びんや水のいった容器などを置かない。

水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因になります。



禁止

注意 設置について

- 温度の高い場所に置かない。
直射日光の当たる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や、故障による火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 湿気やほこりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。
調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 電源プラグがかんたんに抜き差しできる場所に設置する。

本機は電源プラグを遮断装置として使用しています。機器は電源コンセントの近くに設置し、すぐに手が届くようにしてください。



指示

- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。通風孔などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。



禁止

注意 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。
かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながるおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 内部に異物を入れない。
通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因になります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。



禁止



禁止

- 修理や改造、分解をしない。
内部には電圧の高い部分があるため、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーサポートセンターにご依頼ください。



禁止

- 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触らない。
感電の原因となります。



禁止

- 本機に乗ったりしない。
けがの原因となる場合があります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



禁止

- 旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜く。
万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。



プラグを抜く



警告 お手入れについて

- 電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着していたら、乾いた布でふき取る。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
定期的に電源プラグを点検してください。



指示

- お手入れのときは電源プラグを抜く。
感電の原因となる場合があります。



プラグを抜く

■ 本機について

本機にはバッテリーが内蔵されています。

バッテリーが消耗したり故障した場合は、カスタマーサービスセンターでの交換、または修理対応になります。当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

本機が壁のコンセントに接続されているときは、本機の電源をオフにしても、電源は接続状態になっています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI - B

注意：

- 本機の識別情報や電源定格を含む安全標の情報については本機の内側のメインラベルをご参照ください（24 ページ）。
- 充電器は本機に付属の充電器のみを使用してください。別の機器や製造業者の充電器は使用しないでください。別の充電器を使用すると、本機が故障し、保証が無効になるおそれがあります。
- 本機を水（滴る水、飛び散る水など）にさらしたり、また花瓶など、水の入った容器を本機の近くに置かないでください。
- 火の点いたキャンドルなどの裸火を本機の上に置かないでください。



ヒント

機器作動温度

寒い場所で作動させると、印刷ができない場合があります。

指定温度(5℃～40℃)の部屋などに10分ほど置いてから再び印刷してください。(適正にご使用いただくには冬の野外では本機を使用しないことをおすすめします。)



警告

乾燥した環境で本機を使用する際は注意してください。

- 湿度が低い環境では静電気が生じる場合があります。
- 静電気を放電した後に本機を使用することをおすすめします。

目次

安全にお使いいただくために..... 2

ステップ1 はじめに 11

同梱品 11

各部名称..... 11

電源オン/オフ 12

ステップ2 バッテリーの充電..... 12

ステップ3 フォトペーパーの挿入..... 14

スマートシートでプリンターヘッドを

クリーニングする 14

紙詰まりを解消するには..... 14

ステップ4 アプリのインストール 15

Androidスマートフォン用アプリを

インストールする..... 15

アプリを設定する..... 16

iPhone用アプリをインストールする ... 17

iPhoneのBluetoothを設定する 17

ステップ5 写真の印刷..... 18

Androidスマートフォンを使用して

印刷する 18

iPhoneを使用して印刷する 21

印刷についてのご注意 23

ラベルを確認する 24

LED表示について 25

仕様 26

困ったときは 27

ステップ1

はじめに

同梱品



ポケットフォトプリンター



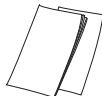
USBケーブル



充電器

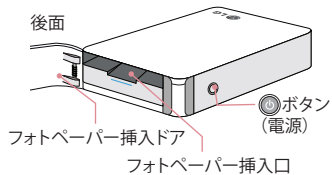
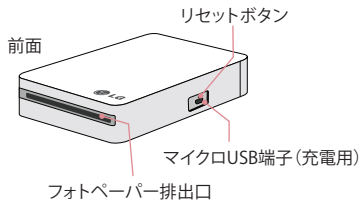


ZINKフォトペーパー

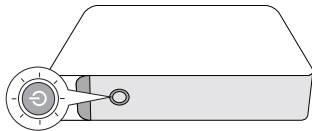


取扱説明書

各部名称



電源オン/オフ



オン:4秒間長押しする。

オフ:2秒間長押しする。



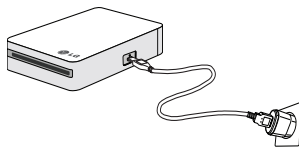
ヒント

- 本機の電源をオンにすると ⏻ ボタンのLEDが5秒ほど点滅し、その後印刷ができるようになります。
- ⏻ ボタンのLEDで本機の状態を確認できます。詳細は25ページの「LED表示について」をご参照ください。

ステップ2

バッテリーの充電

本機は内蔵バッテリーを使用します。ご使用前の前にバッテリーを十分に充電してください。(下記参照)




バッテリー充電時間:約1.5時間

充電状態は ⏻ ボタンのLEDで確認できます。

- 充電中： ⏻ (電源オフ時)
- フル充電： ⦿ (電源オフ時)
- 残量 10%：約3秒程度点滅します。
- 残量 0%：約30秒程度点滅した後、消えます。
- 印刷中の場合を除き、本機を電源に接続しているときは常に充電されています。

充電器

- 入力：100 - 240 V ~ 50 / 60 Hz
- 出力：5 V  1.2 A



警告

- 感電を防ぐため、充電中の本機の扱いには気をつけてください。
- 暖房器具のそばに置かないでください。
- 分解、または変形させないでください。
- 衝撃をあたえないでください。
- 極端な高温 / 低温や湿度は避けてください。



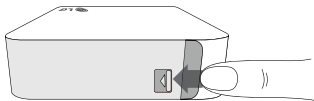
ヒント

- 付属の USB ケーブルを使用し本機をパソコンに接続して充電することができますが、充電時間がより長くなる場合があります。
- バッテリーの使用時間はバッテリーの状態や操作状況、使用環境などによって異なる場合があります。
- バッテリーが放電された場合、10 分以上充電すると再び印刷できるようになります。(連続して印刷するにはフル充電してください)

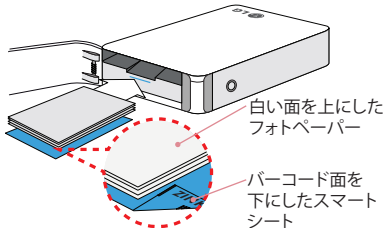
ステップ3

フォトペーパーの挿入

1. フォトペーパー挿入ドアを開けます。



2. フォトペーパーを袋から出します。
3. スマートシート(青色)とフォトペーパーと一緒にフォトペーパー挿入口に入れます。スマートシートは印刷が始まる前に自動的に排出されます。
 - フォトペーパーの挿入は1パック(フォトペーパー10枚とスマートシート1枚)以下にしてください。それ以上挿入するとフォトペーパーが2枚排出されたり、フォトペーパーが詰まるおそれがあります。
 - 1パックを使い終わってから新しいフォトペーパーを挿入してください。
 - フォトペーパー挿入口の奥までフォトペーパーを入れないようにご注意ください。



スマートシートでプリンターヘッドをクリーニングする

スマートシートはプリンターヘッドをきれいにし、写真の色をよりあざやかにします。フォトペーパーのパックを入れ換えるたびに、スマートシートでクリーニングすることで印刷の品質を保つことができます。

紙詰まりを解消するには

フォトペーパーを引っ張らないでください。本機の電源をオフにし再びオンにすると、フォトペーパーが自動的に排出されます。

この方法で紙詰まりが解消しない場合は、27ページの「困ったときは」をご参照ください。

警告

- 印刷中に無理にフォトペーパーを引っ張らないでください。故障の原因となります。
- フォトペーパーを損傷させたり曲げたりしないでください。
- 汚れたフォトペーパーを使うと、故障の原因となる場合があります。
- 専用フォトペーパー以外の使用は故障や紙詰まりの原因となります。
- 本機を車の中に置いたり、直射日光や湿気に直接当てないようにしてください。
- 本機を極端な高温 / 低温や湿度の環境に置かないでください。写真の印刷品質が低下する場合があります。

ヒント

- フォトペーパーを汚さないよう、フォトペーパーの取り扱いには気をつけてください。
- フォトペーパーの有効期限を確認して使用してください。
- 袋を開けたままにしておく、フォトペーパーが変形する場合があります。袋を開けた後は早めに使用することをおすすめします。

ステップ4

アプリのインストール

Androidスマートフォン用アプリをインストールする 

Playストアから (Android Market)

「LG Pocket Photo」を検索してください。

QRコードの利用

製品ケース、または本取扱説明書の表紙にあるQRコードをスキャンします。

NFCの利用

19ページの「NFCを利用した印刷方法」をご参照ください。

アプリを設定する

[設定]のオプションを設定します。



- **NFC***：NFC を利用して印刷します（NFC 対応のスマートフォンのみ）。
- **Bluetooth**：Bluetooth を利用して印刷します。
- **GPS****：写真の撮影場所を保存します。

* NFC：近距離無線通信
(Near Field Communication)

** GPS：衛星を利用した全地球測位システム
(Global Positioning System)

[ヘルプ]で詳細情報を確認

アプリに関するより詳しい情報は[ヘルプ]をタッチしてください。



iPhone用アプリをインストールする



App Storeから

「LG Pocket Photo」を検索してください。

QRコードの利用

製品ケース、または本取扱説明書の表紙にあるQRコードをスキャンします。

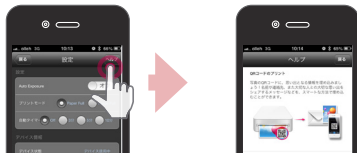
iPhoneのBluetoothを設定する

1. iPhoneのホーム画面で、[設定] をタッチします。
2. [Bluetooth] をタッチして、スライダをタッチすると、Bluetoothが[オン]になります。
3. iPhoneに本機を接続するには、本機の電源をオンにし、本機が検出可能なモードになっていることを確認してください。
4. iPhoneが本機を検出したら、iPhone画面の上の[Pocket Photo]の名前をタッチします。



[ヘルプ]で詳細情報を確認

アプリに関するより詳しい情報は[ヘルプ]をタッチしてください。



ステップ5 写真の印刷

Androidスマートフォンを使用して印刷する

Bluetooth(Bluetooth)を利用した印刷方法

準備:本機の電源をオンにし、電源ボタンのLEDが白色になると印刷が開始できます。

1. Androidスマートフォンの「Pocket Photo」を実行します。
2. 印刷する写真を選択し、[共有]をタッチします。
3. [はい]をタッチし、Bluetooth機器を検索します。
4. 本機が初めてペアリングされると、[Bluetoothのペア設定リクエスト]が表示されます。[ペア設定する]をタッチするか、またはPINコード「0000」を入力すると印刷がはじまります。
 - スマートシートが本機の中に入っていると印刷の前に排出されます。

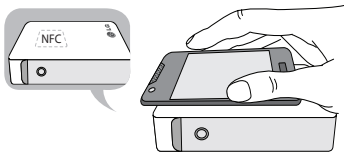


- ① アプリを使用しないで、Androidスマートフォンや、パソコンからBluetoothで直接印刷することもできます。写真を選択しメニューから[共有]、または[Bluetooth]を選択してください。

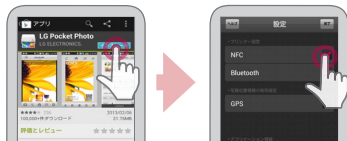
NFC (NFC) を利用した印刷方法

はじめに、お客様のAndroidスマートフォンがNFCに対応しているかどうかを確認してください。

- NFC タグの読み方：スマートフォンを本機の NFC タグに近づけてください。



1. 初めてNFCを利用する場合、Pocket PhotoアプリをダウンロードできるPlayストアに接続されません。
2. インストールされたアプリの[設定]に移動し、[NFC]をチェックしてください。



3. NFCで印刷する写真を選択すると、すぐに印刷が始まります。以降、NFCを利用するだけでアプリを実行し、写真を印刷することができます。

Androidスマートフォンの「Pocket Photo」の設定

バッテリー状態、プリント枚数、MACアドレス、本機の状態・バージョンの確認や、プリントモードの設定を変更することができます。

1. Androidスマートフォンの「Pocket Photo」を実行します。(「デバイス情報」を確認するには、スマートフォンのBluetoothをチェックして設定します。)

2. [設定]に移動します。
3. [デバイス情報]をタッチします。



自動露出	画像の色調を補正します。 (オン/オフ)
フチなし印刷	余白が生じないように、フチなしで印刷します。(画像の端がカットされる場合があります)
画像をフルサイズ印刷	フルサイズで画像を印刷します。(フォトペーパーの端に余白が生じる場合があります)
自動タイマーオフ	本機が自動的に電源オフになる時間を設定します。(初期設定は [5分] です。[オフ] に設定すると、本機がフル充電されている場合、2.5時間まで接続され続けます。)

iPhoneを使用して印刷する **iOS**

Bluetooth (Bluetooth) を利用した印刷方法

準備: 本機の電源をオンにし、電源ボタンのLEDが白色になると印刷が開始できます。

1. iPhoneの「Pocket Photo」を実行します。
2. 印刷する写真を選択し、印刷アイコンをタッチします。
3. 「プリントしますか?」というメッセージが表示されます。「はい」を選択して印刷を開始します。
 - Bluetoothを設定していない場合は、「ペアリングしているデバイスがありません」と表示されます。(17ページの「iPhoneのBluetoothを設定する」をご参照ください。)
 - スマートシートが本機の中に入っていると印刷の前に排出されます。



iPhoneの「Pocket Photo」の設定

バッテリー状態、プリント枚数、MACアドレス、本機の状態・バージョンの確認や、プリントモードの設定を変更することができます。

1. iPhone の「Pocket Photo」を実行します。（[デバイス情報]を確認するには、iPhone の Bluetooth を [オン] に設定します。）
2. [設定] に移動します。
3. 設定オプションを選んで変更します。



自動露出	画像の色調を補正します。 (オン/オフ)
フチなし印刷	余白が生じないように、フチなしで印刷します。(画像の端がカットされる場合があります)
画像をフルサイズ印刷	フルサイズで画像を印刷します。(フォトペーパーの端に余白が生じる場合があります)
自動タイマーオフ	本機が自動的に電源オフになる時間を設定します。(初期設定は [5分] です。[Off] に設定すると、本機がフル充電されている場合、2.5 時間まで接続され続けます。)

印刷についてのご注意

- スマートフォンの画面上の色と印刷された写真の色は異なる場合があります。
- バッテリーがフル充電されている場合、25 枚まで続けて印刷できます。バッテリーの状態によって印刷できる枚数は異なります。
- Bluetooth 機器の検索・伝送は環境によっては失敗することがあります。お持ちのスマートフォンの Bluetooth 環境を確認した後、再度試してください。
- 本機以外にも機器がある場合、ラベルの MAC アドレスを確認して、ご使用になる機器を選んでください。(24 ページの「ラベルを確認する」をご参照ください。)

警告

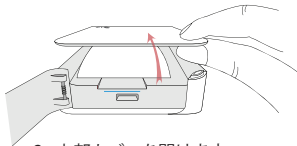
- 印刷中に無理にフォトペーパーを引っ張らないでください。
- 印刷中にフォトペーパー挿入ドアを開けないでください。
- フォトペーパー排出口の前に物を置かないでください。
- 本機に振動や衝撃が加えられると印刷される写真の品質が低下する場合があります。

ラベルを確認する

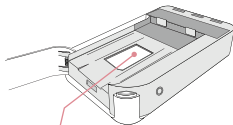
本機以外にも機器がある場合、ラベルのMACアドレスを確認して、ご使用になる機器を選んでください。



1. フォトペーパー挿入ドアを開けます。



2. 上部カバーを開けます。



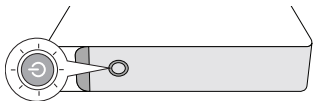
3. 製品ラベルを確認します。

警告







- 開ける前に本機の電源をオフにしてください。
- 上部カバーを閉じるときは、フォトペーパー挿入ドアを必ず開けてください。
- ラベルを確認する場合を除き、なるべく上部カバーを開けないようにしてください。
- 黒色のゴムパッドを外さないでください。故障の原因となる場合があります。

LED表示について

● ボタンの LED で本機の状態を表示します。



LEDの色	状態/電源	説明
	待機中/オン	印刷待機中。しばらく使用しないと、本機は電源オフになります。
	フル充電/ オフ	印刷するには本機の電源をオンにしてください。
	充電中/オフ	印刷するには本機の電源をオンにしてください。

 ↔ 	エラー/オン	紙切れ、紙詰まり、印刷中止、ドアが開いた状態、低温、非対応のファイル形式
 ↔ 	ローバッテリー/オン	印刷するには本機を充電してください。
 ↔ 	印刷中/オン	データ転送中。印刷中。
	冷却モード/ オン	続けて印刷すると、本機は自動的に内部温度を下げます。しばらく待ってから印刷してください。

仕様

画像のサイズ	50 mm × 76 mm (ドットサイズ：640 × 1224)
画像ファイルの種類/サイズ	JPEG (ベースライン)/10MB以下 (プログレッシブJPEGはサポートされません)
使用できるフォトペーパー	ZINK™ フォトペーパー (LG Pocket Photo専用)
フォトペーパー保存環境	温度：20 - 25 °C 湿度：40 - 55 % RH
本機動作環境	温度：5 - 40 °C 湿度：70% 以下 (35 °C) (アプリ上で温度アラートのポップアップが現れます)
最適印刷環境	温度：15 - 32 °C 湿度：70% 以下 (32 °C)
LED表示	電源/待機/データ転送・印刷/充電/ローバッテリー/エラー/プリンターの状態

通信	Bluetooth2.1+EDR 有効動作距離：約 10m
外部コネクタ	マイクロUSB端子(充電用)
バス電源供給(USB)	DC 5 V \equiv 1.2 A
バッテリー寿命	500 mAhリチウムポリマー充電式バッテリー フル充電の場合、最大25枚プリント
電源	500 mAhリチウムポリマー充電式バッテリー充電器 (DC 5 V \equiv 1.2 A)
画像解像度	1280 × 2448ピクセル以上
外形寸法(幅×奥行×高さ)	72.4 mm × 120.9 mm × 24 mm
本体質量	212 g

- スマートフォンは、メーカー、使用環境、または OS により、本機と互換性がない場合があります。
- デザインと仕様は予告なしに変更される場合があります。

困ったときは

問題	原因/対処方法
電源がオンにならない。	バッテリー残量がなくなりました。 充電する際に本機が充電器、またはパソコンにしっかり接続されているかを確認してください。
Bluetoothペアリングが正常に機能しない。	スマートフォンのBluetoothを再実行し、スマートフォンの設定から本機とペアリングしてください。 本機の電源をオンにし、5秒後再び印刷（ペアリング）してください。 本機の電源がオンになっているか確認してください。

問題	原因/対処方法
印刷の前に紙が詰まった。	1. 本機の電源をオフしてから再びオンにすると、フォトペーパーが自動的に排出されます。 2. 上記の方法で紙詰まりが直らない場合、上部カバーを開けて詰まったフォトペーパーをゆっくり取り除き、スマートシート（青色）を一番下に入れてフォトペーパーを整え、もう一度挿入し印刷してください。
印刷中に紙が詰まった。	
印刷された写真に線が入っている。	上部カバーを開けて、スマートシートを一番下に入れてフォトペーパーを整え、もう一度挿入し印刷してください。
画像が印刷されない。または、正しく印刷されない。	（上部カバーの開け方は、24ページの「ラベルを確認する」をご参照ください。）
画像の端がカットされる。	アプリの設定で「プリントモード」を「画像をフルサイズ印刷」にすると全体画像が印刷されます。

問題	原因/対処方法
フォトペーパーの端に空白がある。	<p>[プリントモード] が [画像をフルサイズ印刷] に設定されていてフォトペーパーのアスペクト比と画像が一致しない場合、空白が生じる場合があります。</p> <p>[フチなし印刷] となっている場合、画像の端がカットされるか、または小さい空白が生じる場合があります。</p>
印刷された写真の質が非常に悪い。	<p>アプリの [🔍] メニューを利用して画像を拡大する場合、印刷された写真の質が低くなる場合があります。</p> <p>本機の電源をオフにして、スマートシートをフォトペーパーの一番下に入れて挿入し、印刷してください。</p> <p>写真サイズが適切な解像度 (1280 × 2448 ピクセル) 以上であることを確認してください。</p>

問題	原因/対処方法
本機で印刷できない。	<p>本機にフォトペーパーが入っているかを確認してください。</p> <p>スマートシートが排出されてから印刷するまで時間がかかることがあります。</p> <p>画像ファイルのサイズが 10MB 以下であることを確認してください。</p> <p>ベースライン形式の JPEG ファイルのみ対応しています。</p>
本機の電源が自動的にオフになる。	<p>アプリの設定で [自動タイマーオフ] 時間を確認してください。</p>
上記の方法で解決できない。	<p>シャープペンシルなどで「リセットボタン」を押して、本機を初期化してください。</p>







修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター



(フリーダイヤル)

0120-813-023

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

IP電話などフリーダイヤルがご利用いただけない場合は、03-5675-7323までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 平日：9:00~20:00(年末年始など当社指定日を除く)
土日・祝祭日：9:00~18:00

修理に関するご案内

取扱説明書を再度確認していただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

■保証書(別添)について

ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。保証期間は保証書に記載されています。

■ご注意

保証期間中は保証書の規定(保証書の裏面記載参照)に従って無料修理いたします。保証期間中でも有料となる場合があります。修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理、改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。(故障時は有償になります。)



LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512 東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階